

消防団たずね歩き

「神出支団の歴史」

昭和 22 年 3 月 1 日、明石郡神出村（現：西区神出町）は神戸市に合併され、同年 10 月の神戸市消防団条例の公布に伴い、11 月に「神出消防団（現：神出支団）」が発足しました。

神出支団が守るこの地域は、雄岡山・雌岡山（俗称「神出富士」）にまつわる史跡や、石器時代の遺跡、多数の窯跡が発見されるなど、古くから文化が栄えた土地として知られています。もともとは純農業地域でしたが、地形的に水に恵まれず、大正 8 年に完成した山田川疎水路や東播用水事業の完成に至るまで、住民の苦労は並大抵のものではありませんでした。

現在では、観光農業が盛んで、家族や友人、会社の仲間と楽しめる イモ掘り・ぶどう狩り・梨狩りなどが人気です。さらに貸し農園も整備され、近隣住民の活動体験や憩いの場として注目を集めています。

「兵庫県消防操法大会」

神出支団は、これまで以下の大会に出場しています。

- ・ 昭和 41 年 第 1 回兵庫県消防操法大会（小型ポンプの部）
- ・ 昭和 43 年 第 2 回兵庫県消防操法大会（小型ポンプの部）
- ・ 昭和 45 年 第 3 回兵庫県消防操法大会（小型ポンプの部）
- ・ 昭和 57 年 第 9 回兵庫県消防操法大会（小型ポンプの部）

「最後に」

神出支団は、神戸市消防団を代表して、令和 8 年 7 月に開催される「第 32 回兵庫県消防操法大会」に出場します。

この大会への出場を通じて、消防技術のさらなる向上と団員の士気高揚を図り、「災害に強く、安全で住みよい郷土づくり」を力強く推進してまいります。

神出支団本部 分団長 梶 誠吾
高原 康洋

